南あわじ市 平成 22 年度 事務事業評価シート □ 新規 ☑ 継続 . ___ (事業 委託 補助用)

T ++++		\	T-74 X N U	110-73	110-43713)					
I 基本事項 ` `							整理	番号	69	97
事 業 名	阿万排水機場管理補助金			予	会計	一般会				
尹 未 口	Pr] / J	11:小(成物旨注册则立		算	款	農林水	産業費	・6 款		
担当部課名	農業振興部 農地整備課			科	項	農業費	:1項			
電話	0799	- 43 - 5026		目	目	農地費	: 7目			
事業分類		義務的(法定)事務	法的根据	処						
争未刀积	✓ ·	任意的(自治)事務	(法令、条例、	(法令、条例、要綱等)						
まちづくりの柱		安らぎづくり_	元気あん	<u> ふれ_</u> (主んで快	適なま	ちづくり	_		
南あわじ市総合			とにかく「いのち」が一番_【安全】							
施策体系			住宅や公共施設の災害に対する安全性と、災害に対する市民の意							
			識を高め、自ら身を守る力を育てる							
該当する事業について「」を選択			施策的事業		業	务委託		負担	金補助	

Ⅱ Plan (計画、事業内容、事業背景)

Щ	Piaii	1 (司) 图、争未约台、争未自录/
		対象(誰を・どのような状況の人に)
		南淡南部土地改良区(改良区受益内の阿万地区全域で湛水防除が必要とさ <mark>対象人数(人)</mark>
		れる低地帯の520戸の農家及び一般世帯を対象とする。) 1,560
		· ·
	目	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)
	的	湛水地域農地の排水性の向上を図り、農作物の生産能力を安定させ、以って低地域住民が常に抱えている住宅浸水の不安感を払拭する。
	ከህ	か吊に抱んしいる仕七波小の小女感を払拭する。
		l l
		(何たぜのようか手段, 内突, 手順に上り日的を達成させるのか)
事		(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 湛防等で、阿万地区に整備した排水機場は、本来市が管理すべきところ、迅速・確実な
-		運転管理のために当地域の農業施設を管理する南淡南部土地改良区に依頼し、これに対し
業	実	て補助する。
Lyg	施	1
概	内网	l l
要	容	l l
*		
		l l
		(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など)
		本来は、低地帯の当地域の農地を湛水被害から守るため南淡南部土地改良区からの要望
	背	により整備した施設であるが、住宅密集地の浸水被害の防止にも役立っている。
	Ħ	
	景	
	7 Teles 2	
		業実施主体 □ 市直営 ✓ 民間・その他 (南淡南部土地改良区) 事業期間 ○ 平成 年度 ~ 平成 年度 ✓ 設定なし
4		
合併		(合併前においての事業実施団体と合併時における事務調整経緯) 旧緑町 □ 旧西淡町 □ 旧三原町 ☑ 旧南淡町 □ 旧広域事務組合 □ 新市から
協	旧陸	<u>旧縁町 </u>
議		の末、現在に至る。
事	本来	は、湛水防除事業については、農地防災事業に位置づけられ、地元負担については徴収し
務=	ないの	かが通常であるが、本地区については旧町時代より、補助残の13%のうち5%を負担してい
調整		があり、他地区とのバランスが取れない状況にある。 なかまする意味から本恵業を新まにおいても継続宝族されるにいた。ている。
内	<u>_1</u>	た改善する意味から本事業を新市においても継続実施されるにいたっている。
容	1	

Ⅲ Do(事業活動・成果、投入資源・コスト)

川 Do(事業活動・成果、投入資源・コスト)								
		指標名	予算におけ	ž	指標単位			
				ļ	%			
		指標説明 (指標算出 方法等)	補助金交付金額/予算額					
	事業に対する		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
 ■	標の設定	目標値	100	100	100	100	100	
		実 績 値	100	100	100			
		達成度 (%)	100.0	100.0	100.0	-	-	
		目標値設定 の考え方	予算の執行状況を100%とする。					
			平成19年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	直接事業費 (千円)		10,300		10,600	10,600	8,000	
	阿万排水機場管理補助金		10,300	10,300	10,600	10,600	8,000	
資	財が	原 (千円)						
源配分		<u>原 (千円)</u> 国						
配公		의 문 문						
ת ש		!債						
7		の他						
ンプ	一般財源[A]		10,300	10,300	10,600	10,600	8,000	
	人件費(正規職員)[B] (千円)		0	0	0	0	0	
ット	平均人件費(1日当り)		30.1	27.9	28.2	27.4	27.4	
	事業量1(事業に要した日数)							
	事業量2(事業に要した人数)							
	年間経費	([A]+[B])	10,300		10,600	10,600	8,000	
	「目的」対象人数1人当り経費 (円)		6,602.6	6,602.6	6,794.9	6,794.9	5,128.2	
経費に関する ・ 平成23年度2,600千円は委託料で計上。 ・ 平成21年度まで決算額。平成22年度以降当初予算額。								

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

<u>IV</u>	<u>Check(事業の</u>			-次評価 <i>。</i>					
		単位	平成19年度			21年度	平成22年度	平成 2	23年度
	目標達成度	%	100.0		0.0	100.0	-		-
	(事業目標の達成度分				旦⋒ ₩+±≃	さまま よべんこ	わわていっ		自
達	平常は現在の予算	領じも	回止に処埋る	イレ、排水機1	あい雑特官	3 生か行	われている。		(5) 自
成	I								点評
度	I								一 価
	I								
	I								4
	I								7
	 (住民満足度の分析、	問題占	・課題などを記	7 入。)					
	平常時は現在の予算			•					() 自己
	地元が自主的に管理				D災害に対	付する意	識向上につな	がって	
有助	いる。	∿ 5 ÷⊓ 「	コの借書書が	古妬わたは	++17======	to teenet do	からがっさか	1.1	点評
効性	│ しかし、排水機場(│	い合部は	市の負却質か	高額 <i>はにの</i> 、	如原、多	対関時の	刈心かでさな	ι I _o	— іш
									5
		<u> </u>	亚产4.5 左	:l ₩₽°°	由一元子() 1 /= r÷	東岸 2 左左	l or d ∘	2 /T 175
	事業単価	単位	平成19年度6,602.			21年度 6,794.9	平成22年度 6,794.9		23年度 5,128.2
	(効率性・コストの分析				2.0	0,134.9	0,7 94.9		5,120.2
	年間の維持管理費				での運営管	管理が行	われており、^	他の施	(百)
効率	設と比較することは	難しい。							_E ±₩
単性	また、単年度予算・							大規模	点評 一個
I II	修繕の必要が出てきる	に場合の	ル刃束(他事	業沽用等)	と練ってま	らく必要	かある。		
									4
	ハサルの言が		<u> </u>	<u> </u>					
	公共性の高低	✓	高		低				
		竪刍州]	中 <u></u> 世		λ)			
	(公共性、市民ニーズ、		などを分析、	問題点·課題	などを記え	,	事業は不可な	であ	(自
ıλ	(公共性、市民ニーズ、 地形的に見て、自 り、また農地に隣立	然排水/ する家園	Eなどを分析、 が不可能な地 屋も多数あり	問題点・課題 域であるこ	などを記 <i>え</i> こから、強	制排水			自己 1
必要	(公共性、市民ニーズ、地形的に見て、自然)	然排水/ する家園	Eなどを分析、 が不可能な地 屋も多数あり	問題点・課題 域であるこ	などを記 <i>え</i> こから、強	制排水			点評
必要性	(公共性、市民ニーズ、 地形的に見て、自 り、また農地に隣立	然排水/ する家園	Eなどを分析、 が不可能な地 屋も多数あり	問題点・課題 域であるこ	などを記 <i>え</i> こから、強	制排水			
必要性	(公共性、市民ニーズ、 地形的に見て、自 り、また農地に隣立	然排水/ する家園	Eなどを分析、 が不可能な地 屋も多数あり	問題点・課題 域であるこ	などを記 <i>え</i> こから、強	制排水			点評 一個
必要性	(公共性、市民ニーズ、 地形的に見て、自 り、また農地に隣立	然排水/ する家園	Eなどを分析、 が不可能な地 屋も多数あり	問題点・課題 域であるこ	などを記 <i>え</i> こから、強	制排水			点評
必要性	(公共性、市民ニーズ、 地形的に見て、自まり、また農地に隣立 の非常に高い施設では	然排水が する家! あると!	はなどを分析、 が不可能な地 屋も多数あり いえる。	問題点・課題 域であるこ	などを記 <i>え</i> こから、強	制排水			点評 一個
必 要 性	(公共性、市民ニーズ、 地形的に見て、自まり、また農地に隣立 の非常に高い施設である。 の非常に高い施設である。	然排水がする家があるとい	などを分析、 が不可能な地 屋も多数ありいえる。	問題点・課題域であること、土地改良が	などを記 <i>え</i> こから、強	制排水			点評 一個
必要性	(公共性、市民ニーズ、 地形的に見て、自まり、また農地に隣立 の非常に高い施設では	然排水がする家園 あるとい	などを分析、 が不可能な地 屋も多数あり いえる。 た現状分析 きているので	問題点・課題域であること、土地改良が、土地改良が	などを記 <i>)</i> こから、 強 毎設である	強制排水 るといえ			点評 一個
必要性	(公共性、市民ニーズ、 地形的に見て、自まり、また農地に隣立の非常に高い施設では の非常に高い施設では 自己評価を 施設の耐用年数が	然排水がする家園 あるとい	などを分析、 が不可能な地 屋も多数あり いえる。 た現状分析 きているので	問題点・課題域であること、土地改良が、土地改良が	などを記 <i>え</i> こから、強	制排水るといえ	ども公共性・		点評 一個
必要性	(公共性、市民ニーズ、 地形的に見て、自まり、また農地に隣立の非常に高い施設では の非常に高い施設では 自己評価を 施設の耐用年数が 管理だけでなく具体的	然排水がする家園 あるとい	などを分析、 が不可能な地 屋も多数あり いえる。 た現状分析 きているので	問題点・課題域であること、土地改良が、土地改良が	などを記 <i>)</i> こから、 強 毎設である	制排水るといえ			点評 一個
必要性	(公共性、市民ニーズ、 地形的に見て、自まり、また農地に隣立の非常に高い施設では の非常に高い施設では 自己評価を 施設の耐用年数が 管理だけでなく具体的	然排水がする家園 あるとい	などを分析、 が不可能な地 屋も多数あり いえる。 た現状分析 きているので	問題点・課題域であること、土地改良が、土地改良が	などを記 <i>)</i> こから、 強 毎設である	制排水るといえ	ども公共性・		点評 一個
世	(公共性、市民ニーズ、 地形的に見て、自まり、また農地に隣立の非常に高い施設では の非常に高い施設では 自己評価を 施設の耐用年数が 管理だけでなく具体的	然排水がする家園 あるとい	などを分析、 が不可能な地 屋も多数あり いえる。 た現状分析 きているので	問題点・課題域であること、土地改良が、土地改良が	などを記 <i>)</i> こから、 強 毎設である	制排水るといえ	ども公共性・		点評 一個
世	(公共性、市民ニーズ、 地形的に見て、自まり、また農地に隣立の非常に高い施設では の非常に高い施設では 自己評価を 施設の耐用年数が 管理だけでなく具体的	然排水がする家園 あるとい	などを分析、 が不可能な地 屋も多数あり いえる。 た現状分析 きているので	問題点・課題域であること、土地改良が、土地改良が	などを記 <i>)</i> こから、 強 毎設である	制排水るといえ	ども公共性・		点評 一個
世	(公共性、市民ニーズ、 地形的に見て、自まり、また農地に隣立の非常に高い施設では の非常に高い施設では 自己評価を 施設の耐用年数が 管理だけでなく具体的	然排水がする家園 あるとい	などを分析、 が不可能な地 屋も多数あり いえる。 た現状分析 きているので	問題点・課題域土地改良が上地改良が表する。	などを記りためられる。	制排水るといえ	室 成度 5 T 4 4 3 4 3 4 4 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	緊急性	5
必要性 総合評価	(公共性、市民ニーズ、 地形的に見て、自まり、また農地に隣立の非常に高い施設では の非常に高い施設では 自己評価を 施設の耐用年数が 管理だけでなく具体的	然排水がする家園 あるとい	などを分析、 が不可能な地 屋も多数あり いえる。 た現状分析 きているので	問題点・課題域土地改良が上地改良が表する。	などを記 <i>)</i> こから、 強 毎設である	制排水るといえ	室 成度 5 T 4 4 3 4 3 4 4 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		5
世	(公共性、市民ニーズ、 地形的に見て、自まり、また農地に隣立の非常に高い施設では の非常に高い施設では 自己評価を 施設の耐用年数が 管理だけでなく具体的	然排水がする家園 あるとい	などを分析、 が不可能な地 屋も多数あり いえる。 た現状分析 きているので	問題点・課題域土地改良が上地改良が表する。	などを記りためられる。	制排水るといえ	室 成度 5 T 4 4 3 4 3 4 4 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	緊急性	5
世	(公共性、市民ニーズ、 地形的に見て、自まり、また農地に隣立の非常に高い施設では の非常に高い施設では 自己評価を 施設の耐用年数が 管理だけでなく具体的	然排水がする家園 あるとい	などを分析、 が不可能な地 屋も多数あり いえる。 た現状分析 きているので	問題点・課題域土地改良が上地改良が表する。	などを記りためられる。	制排水るといえ	室 成度 5 T 4 4 3 4 3 4 4 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	緊急性	5
世	(公共性、市民ニーズ、 地形的に見て、自まり、また農地に隣立の非常に高い施設では の非常に高い施設では 自己評価を 施設の耐用年数が 管理だけでなく具体的	然排水がする家園 あるとい	などを分析、 が不可能な地 屋も多数あり いえる。 た現状分析 きているので	問題点・課題域土地改良が上地改良が表する。	などを記りためられる。	制排水るといえ	室 成度 5 T 4 4 3 4 3 4 4 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	緊急性	5
世	(公共性、市民ニーズ、 地形的に見て、自まり、また農地に隣立の非常に高い施設では の非常に高い施設では 自己評価を 施設の耐用年数が 管理だけでなく具体的	然排水がする家園 あるとい	などを分析、 が不可能な地 屋も多数あり いえる。 た現状分析 きているので	問題点・課題域土地改良が上地改良が表する。	などを記りためられる。	強制排水え	室 成度 5 T 4 4 3 4 3 4 4 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	緊急性	5
世	(公共性、市民ニーズ、 地形的に見て、自まり、また農地に隣立の非常に高い施設では の非常に高い施設では 自己評価を 施設の耐用年数が 管理だけでなく具体的	然排水がする家園 あるとい	などを分析、 が不可能な地 屋も多数あり いえる。 た現状分析 きているので	問題点・課題域土地改良が上地改良が表する。	などを記りためられる。	強制排水え	室 成度 5 4 3 2 1 +0 +0 +0 +0 +1	緊急性	5

V Action & Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成23年度にできる改善・改革	平成24年度以降にできる中期的な改善・改革
	□ 現状維持 □ 休止·廃止 □ 事業統廃合	☑ 現状維持 ☑ 休止·廃止 ☑ 事業統廃合
今	→ 予算充実 → 予算削減 → 手法見直し	□ 予算充実 □ 予算削減 □ 手法見直し
今後	旧町より検討し、現状の管理結果となったが、制度やこれまでの敬意を踏まえて方向性を	
<u>စ</u>	決定する必要があると思われる。	
の方向性とそ		
性		
٤		
ტ ტ		
理		
由		
	管理経費について、委託契約により委託料で	
	予算計上する。	
現 現		
具状体維		
的持		
な以		
改外善の		
方場		
法合		
)		
	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	※(グラーガム)曲	が水(アプロガ)画
孙		
善品		
に状		
か維った		
改善によって期待され(現状維持以外の場合		
期外 待	コスト面	コスト面
さい		
れ合		
合効果		
果		
	仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラ	ス面、マイナス面)
現		であると思われる。本施設については、県営湛
中状止維	水防除事業(防災事業)によって設置されたものに にきりかえ、他の施設と同様の条件にする必要が	
・持	に亘り民間活力によって自主運営されてきた、排	『水事業に対する地元関係者の意欲が薄れてしま
統の	い、公共に依存するようになるのではないかとい	う不安が残る。
廃場 合合		
のも		
影記		
響入		